

＜参考3＞平成26年度広島市役所の事務・事業からの排出量

1 温室効果ガス排出量の削減目標の達成状況

平成26年度における本市の事務・事業からの温室効果ガスの総排出量は400,526トン（二酸化炭素換算）でした。

(単位:t-CO₂)

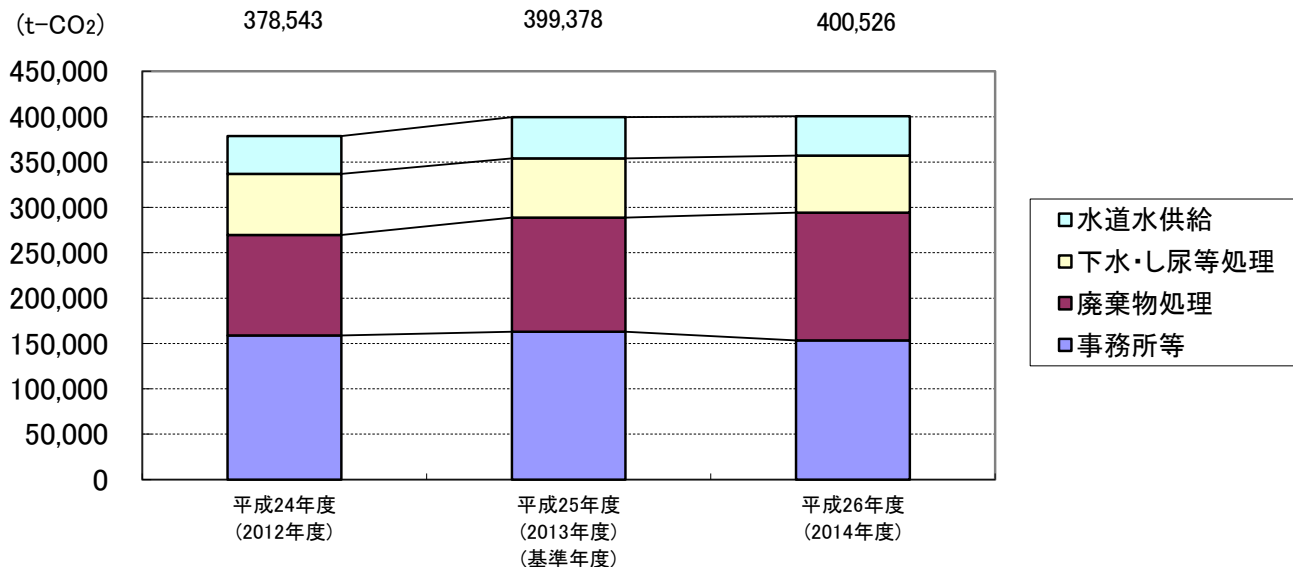
区 分		平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度) 【基準年度】	平成26年度 (2014年度)
温室効果ガス総排出量		378,543	399,378 (20,835)	400,526 (1,148)
排出源別排出 (内訳)	市の事務事業に係る事務所等からの排出	158,876	162,799 (3,923)	153,494 (▲9,305)
	廃棄物の処理(焼却・埋立)に伴う排出(注2)	110,588	125,844 (15,256)	140,652 (14,808)
	下水・し尿等の処理に伴う排出(注3)	67,380	65,532 (▲1,848)	63,124 (▲2,408)
	水道水の供給に伴う排出(注4)	41,699	45,203 (3,504)	43,256 (▲1,947)

- (注1) 表中の()書きは、対前年度比増減及び増減率を表す。
- (注2) 環境局の廃棄物関係部署の事務所等運営に係るものを含む。
- (注3) 環境局のし尿関係部署及び下水道局の庁舎・事務所等運営に係るものを含む。
- (注4) 水道局の庁舎・事務所等運営に係るものを含む。
- (注5) 排出量は四捨五入して掲載しているため、合計欄の数と部門ごとの内訳が一致しない場合がある。

2 温室効果ガス総排出量の推移

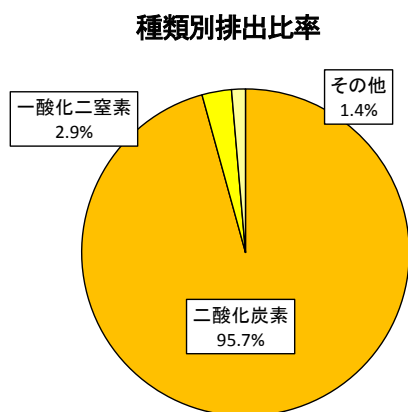
廃棄物の処理に伴う温室効果ガス排出量が増加していることから、温室効果ガス総排出量は増加傾向にあります。

温室効果ガス総排出量の推移



3 温室効果ガスの種類別排出比率

温室効果ガスの種類別排出比率は、二酸化炭素が95.7%と、そのほとんどを占めています。



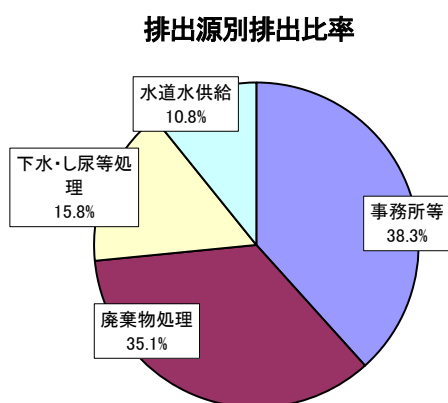
＜温室効果ガスの種類別排出量＞ (単位:t-CO₂)

区分	排出量	割合
二酸化炭素	383,390	95.7%
一酸化二窒素	11,679	2.9%
メタン	5,411	1.4%
六ふっ化硫黄	31	0.008%
ハイドロフルオロカーボン	16	0.004%
計	400,526	100.0%

(注) 排出量は四捨五入して掲載しているため、合計欄の数と部門ごとの内訳が一致しない場合がある。割合についても同様。

4 温室効果ガスの排出源別排出比率

温室効果ガスの排出源別排出比率は、事務所等からの排出と廃棄物処理に伴う排出とで、全体の7割強を占めています。



＜温室効果ガスの排出源別排出量＞ (単位:t-CO₂)

区分	排出量	割合
市の事務事業に係る事務所等からの排出	153,494	38.3%
廃棄物の処理(焼却・埋立)に伴う排出	140,652	35.1%
下水・し尿等の処理に伴う排出	63,124	15.8%
水道水の供給に伴う排出	43,256	10.8%
計	400,526	100.0%

(注) 排出量は四捨五入して掲載しているため、合計欄の数と部門ごとの内訳が一致しない場合がある。割合についても同様。

5 平成26年度の排出源別の温室効果ガス排出量の増減理由

(1) 市の事務・事業に係る事務所等からの排出

事務所等からの排出量は、電気使用量の9割弱を占める中国電力㈱の排出係数が減少したこと、また、平成25年度と比べて6～9月の平均気温が低く冷房稼働時間が減少したこと等により、平成25年度比で5.7%減少しました。

＜温室効果ガス排出量の増減比較＞

(単位:t-CO₂)

区分	平成25年度	平成26年度	増減		
			増減	増減率	
市の事務事業に係る事務所等からの排出量	162,799	153,494	▲9,305	▲5.7%	
内訳	電気使用	106,952	104,030	▲2,922	▲2.7%
	その他	55,847	49,464	▲6,383	▲11.4%

(2) 廃棄物処理（焼却・埋立）からの排出

廃棄物の処理に伴う排出量は、一般廃棄物のうち、廃プラスチックの焼却量が増加した結果、平成 25 年度比で 11.8%増加しました。

＜温室効果ガス排出量の増減比較＞

(単位:t-CO₂)

区 分		平成25年度	平成26年度	増減	
				増減	増減率
廃棄物の処理(焼却・埋立)に伴う排出		125,844	140,652	14,808	11.8%
内 訳	廃プラ焼却	90,452	105,230	14,778	16.3%
	合成繊維焼却	19,683	19,809	126	0.6%
	その他	15,709	15,613	▲96	▲0.6%

(3) 下水・し尿等処理からの排出

下水・し尿処理に伴う排出量は、電気使用量の9割以上を占める中国電力㈱の排出係数が減少したこと、また、故障で停止していた西部水資源再生センターの消化ガス発電設備が平成 26 年度は稼働したことに伴い、買電量が減少したこと等により、平成 25 年度比で 3.7%減少しました。

＜温室効果ガス排出量の増減比較＞

(単位:t-CO₂)

区 分		平成25年度	平成26年度	増減	
				増減	増減率
下水・し尿等の処理に伴う排出		65,532	63,124	▲2,408	▲3.7%
内 訳	電気使用	56,268	53,848	▲2,420	▲4.3%
	下水処理	8,400	8,468	68	0.8%
	下水汚泥焼却	0	0	0	0%
	燃料使用	669	654	▲15	▲2.2%
	その他	195	154	▲41	▲21.0%

(4) 水道水供給からの排出

水道水の供給に伴う排出量は、電気使用量の9割以上を占める中国電力㈱の排出係数が減少したこと、また、水道局基町庁舎の食堂休業（4 か月）や、平成 25 年度と比べて 6～9 月の平均気温が低く冷房稼働時間が減少したこと等により、平成 25 年度比で 4.3%減少しました。

＜温室効果ガス排出量の増減比較＞

(単位:t-CO₂)

区 分		平成25年度	平成26年度	増減	
				増減	増減率
水道水の供給に伴う排出		45,203	43,256	▲1,947	▲4.3%
内 訳	電気使用	44,488	42,588	▲1,900	▲4.3%
	その他	715	668	▲47	▲6.6%